

具体的な一歩

最初のミッションに向けて、チームを始動する

2年文系「科学と人間生活（2単位）」
「生物基礎探究（1単位）」 02

（ ）組（ ）番

氏名（ ）

- 今日の目標
- (1) 「チーム」が決まっていなければ、今回で（最初の一步の相手として）決める
 - (2) 今週の臨時時間割を確認し、スケジュールを立てる；計画表を作成し、提出する
 - (3) 可能であれば、最初の「テーマ」を決める ※前回01の「活動内容」と「当面の課題」を読み直してください。読み違えている人がいるかなと、振り返りを読んで感じました。

- 活動の前提
しばらく掲載
- 授業における活動は、次のことを前提としていますので確認してください。
- ・今年度の隠岐島前高校のスローガンは”（凡事徹底を継承しつつ）前傾姿勢—前へ—”である
 - ・大切にすることは「凛・志・絆・SINKA—親化・進化・新化・深化・神化・真価」である
 - ・教育活動の3つの柱は「個別化」「協働化」「プロジェクト化」である
 - ・目指す学びは「主体的な学び・対話的な学び・深い学び」である
 - ・社会の基本は「一人も見捨てない No one will be left behind.」である

- 科目の目的
もう一度だけ掲載
- 「科学と人間生活」でめざすこと
- ・身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会に対して、科学的な見方や考え方をもって関わるができるようになる。
- 「生物基礎探究」でめざすこと
- ・身近な自然の事物・現象及び日常生活や社会に対して、生物基礎の知識や考え方をもって関わるができるようになる。

- 活動内容
もう一度だけ掲載
- 「科学と人間生活」として、次の(1)または(2)、あるいは両方について取り組む
- (1) 「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」について、可能な限り現地を訪れ、具体的な題材を取り上げて、（初めての経験する人のための）ガイドブックを作成する。
 - (2) 日常生活の中に見られる「不思議」や「謎」について、それがどのようなものであるか、を科学的に説明できる、解説書を作成する。
- 「生物基礎探究」として、(1)(2)の順に取り組む
- (1) 昨年度学んだ「生物基礎」の知識が、ヒトとしての自分、日常生活や社会とどのようにつながっているか（知識を活用できるか）を調べ、レポートを作成する。
 - (2) (1)で扱った「ヒトとしての自分、日常生活や社会」の中で見られる「不思議」や「謎」について、さらに深く調べ、レポートを作成する。

活動指針 01に掲載してあるので、毎回、チームで意識してください。

- 当面の課題 5月末までに、
- ・「科学と人間生活」で「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」に関するガイドブックを1つ作成する。
 - ・「生物基礎探究」で(1)に関するレポートを2つ→1つ（減らします！）作成する。

- 今日の具体的な作業 5月末までの活動のテーマを3つ決める
- (1) 「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」のジオサイト1箇所の解説書を作成する。
 - ・対象者；隠岐に初めて来た人 ・詳しい専門的な知識をもっていない人
 - ・ジオサイト；現在、ガイドブックに出ているものでもよいし、新たに自分で探す、または、見つけ出しても良いジオパークの3つの視点のどれかに該当すること
 - ・大地の成り立ち ・独自の生態系 ・人の営み
 - ・参考；配布したガイドブック、「隠岐ユネスコ世界ジオパーク」HP、図書室の資料、等
 - (2) 「生物基礎」の知識がどのように日常の生活や社会のしくみと関係するかを解説するレポートを作成する。
 - ・対象者；生物基礎を学んでいない（一般の）人
 - ・テーマ探し；「生物基礎」の授業プリントの「授業の目標」の中で、日常の生活や社会のしくみとの関係のありそうなものを探す。あるいはその逆。
 - ・参考；「生物基礎」授業プリント、教科書、図説、ネット上の情報、図書室の資料、等
- (1)と(2)に共通すること
- ・目指すもの；興味をもってもらう、面白いと感じてもらう
 - ・形式；自分たちの工夫で
 - ・情報実習室でワードやパワーポイントを使って、最後はPDFにします
 - ・画像やイラスト等は著作権フリーのものか、自分たちで撮影したものに限る。